

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	<p>卵巣凍結及び卵巣組織卵子体外成熟培養の実際 [倫理審査受付番号：第 4848 号]</p>
研究責任者氏名	<p>脇本 裕</p>
研究機関長氏名	<p>兵庫医科大学 学長 鈴木 敬一郎</p>
研究期間	<p>2024 年 10 月 28 日～2025 年 12 月 31 日</p>
研究の対象	<p>以下に該当する患者さんを研究対象とします。</p> <p>妊孕性温存のため卵巣凍結及び卵巣組織卵子体外成熟培養を行われた方 診療科名等：産科婦人科</p> <p>受診日：西暦 2017 年 2 月 1 日～2024 年 9 月 30 日</p>
研究に用いる 試料・情報の種類	<p>試料等 カルテ情報（診療の過程で取得） アンケート その他</p>
研究目的・意義	<p>卵巣組織凍結および卵巣組織と併用して実施される未成熟卵子（卵巣組織卵子）の体外成熟培養に関する実際の手技と臨床経過報告は、本邦においては、まだ少ないのが現状です。今回、卵巣凍結と未成熟卵子の体外成熟培養による研究（受付番号：1988 研究課題名：若年がん女性等の妊孕性温存を目的とした卵巣組織の凍結保存と移植 研究期間：2015 年 8 月 25 日～2024 年 12 月 31 日）が先行研究を実施し約 9 年が経過しましたので、実施状況や課題などを明らかにするため臨床成績を解析し、今後のがん・生殖医療に関わる医療政策に寄与することが目的です。その意義として、本邦のがん生殖医療の発展に寄与できると考えます。</p>
研究の方法	<p>2017 年 2 月から 2024 年 9 月までに卵巣凍結および卵巣組織卵子体外成熟培養を施行された患者様が対象です。2024 年 9 月 30 日までのデータを使用します。兵庫医科大学病院で卵巣凍結および卵巣組織卵子体外成熟培養を施行された患者さんの年齢、妊娠歴、婚姻状況、卵巣凍結時の血清 AMH 値、原疾患の内訳、化学療法既往の有無、妊孕性温存までに要する期間、回収した卵子数、回収した卵巣組織卵子数、卵子凍結数、卵巣組織の切片数を後方視的に診療録を用いて評価します。化学療法の既往の有無で、上記の評価し</p>

	たデータに差がないか比較します。
個人情報の 取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する 連絡先	診療科名等：産科婦人科 担当者氏名：脇本 裕 住所：〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町 1-1 (平日 9 ~ 17 時) 兵庫医科大学産科婦人科学講座の電話番号：0798-45-6481